

懇談会について

12月7日（木）、8日（金）、11日（月）に2学期懇談会が開かれます。一人10分程度と限られている中ですが、進路決定を伴う大切な懇談です。笑顔の春につながる、よい懇談をしましょう。

① 国立・私立高等学校及び専修学校等についての進路選択は、決定事項の確認です

国立・私立高校、専修学校等を受験する人（推薦・一般とも）は志望校をどこにするか、2学期の評定をもとに決定します。12月5日（火）までに「国立・私立高等学校、専修学校等受験校調査カード」に記入して提出します。懇談会では、その内容を確認し、保護者の方に確認の署名をいただきます。

② 公立高等学校についても検討します

今回の懇談会では、公立高等学校に関しても検討をします。その際には、1・2学期の評定や実力テストなどを参考にします。また、力を伸ばしているかどうか大切な判断材料になります。公立高等学校の受検校決定は3学期の懇談会（1月15日、1月16日）ですが、公立高等学校の推薦選抜を考えている人には12月4日（月）に公立高等学校推薦選抜希望用紙を配付します。推薦選抜希望用紙は、12月12日（火）までに担任の先生に提出してください。その際、自分がどの推薦区分で、どの部分に該当しているのかを伝える必要があります。各高等学校の推薦要項は、教室に置いてありますので確認してください。推薦選抜希望用紙を提出したら、校内推薦委員会で審議するための公立高等学校推薦選抜志願書の記入をします。推薦選抜志願書は、1月10日（水）までに担任の先生に提出してください。

公立高等学校は合格したら入学することが前提です。第2希望の公立高等学校よりも、私立高等学校に進学したいという場合は、第1希望の公立高等学校のみ出願することになります。希望順位を明確にしてください。

■ 受験校決定における注意事項

① 国立高等学校・私立高等学校・専修学校を推薦入試で受験する場合

推薦入試の場合は、第1希望での受験が前提です。校内の推薦委員会で審議されますので、**推薦志願書を12月12日（火）の朝の会までに**、担任の先生に提出してください。保護者の署名が必要です。校内推薦委員会の結果は、12月15日（金）の授業後に本人に通知します。

② 私立高等学校・専修学校を一般入試で受験する場合

一般入試の場合も、受験校を決定します。進路通信No.44でお伝えしたように、学校によっては**科やコース、クラスについて、第2・第3希望まで受験票に書く**ことのできる学校がありますので、そこまで確認をします。